

12/2 (金)

さんバレー交流

晴明丘ク、再会誓う



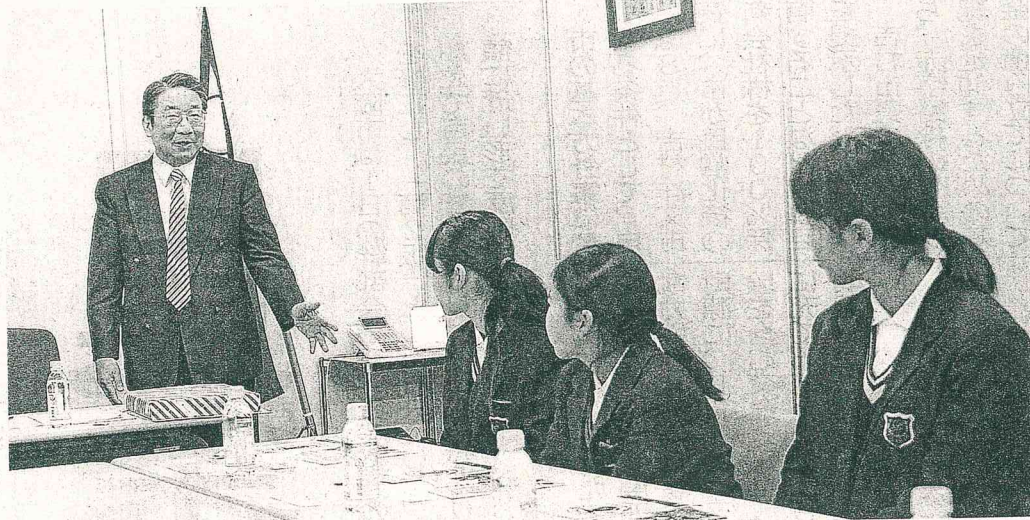
記念品を交換する両チームの関係者ら

な雰囲気包まれた後、10セット近く熱戦を繰り広げた。記念品を交換し合ったほか懇親会も実施。ジェスチャーゲームや折り紙体験を通して盛り上がった。

DIDAの陳秋実代表は「今度はぜひシリコンバレーに来てほしい。最高のおもてなしをする」と話し、再会を誓い合った。

「晴明丘」は創部

羅課長(左)の説明を真剣に聞く生徒



墨江丘中学校では、3年前から国際交流を目的に、台湾の中学校と生徒を相互受け入れしている。今回は、校内選考で選ばれた1、2年生9人が12月25、27日の3日間、新北市立正徳国民中学校を訪問。授業に参加するなど交流する。宿泊は生徒宅にホームステイする。

11月29日に訪問した生徒は1人ずつ自己紹介を行い、2年生の三宅佑悟さんは「台湾ではたくさんの友達をつくって、今後の学校生活に生かしていきたい」、2年生の前野心映さんは「食や文化などいろんなことを学びたい」と話した。

弁事所の羅国隆文化教育課長は「自分の意見をはっきりと言えることは素晴らしい。台湾の学生ともすぐに打ち解けられると確信している。たくさんの友人をつくって帰ってきてください」と激励した。

生徒たちは、羅課長から台湾の歴史や風土の説明を受け、真剣な表情で聞いていた。

「友達をつくる」 「食や文化学ぶ」

住吉区



冬休み中に台湾の中学校を訪問する住吉区墨江の墨江丘中学校(渡辺雅彦校長)の生徒らが、台湾の台北駐大阪経済文化弁事所(西区土佐堀)を訪れ、出発のあいさつと意気込みを語った。

(光長いづみ)

台湾訪問 楽しみ

墨江丘中生徒、台北大阪弁事所を表敬